

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

平成 24 年度の当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 12 社 (前年度末比-1 社)
退会 (株)サンダンス・リゾート
賛助会員 25 社 (前年度末比-1 社)
退会 西松建設(株)

2 理事会・総会の開催

1 平成 24 年 5 月 23 日(水)東京都渋谷区のリゾートトラスト東京ビル会議室にて、本年度第 1 回理事会並びに第 25 回通常総会を開催。

理事会議題 1 平成 23 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
2 平成 24 年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件
3 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件
4 理事互選により会長・副会長・常務理事を選任する件
5 一般社団法人への移行認可申請承認の件
6 定款変更(一般社団法人)案承認の件

総会議題 1 平成 23 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
2 平成 24 年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件
3 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件
4 理事互選により会長・副会長・常務理事を選任する件
5 一般社団法人への移行認可申請承認の件
6 定款変更(一般社団法人)案承認の件

2 平成 25 年 1 月 24 日(木)東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 2 回理事会を開催。

理事会議題 1 平成 24 年度 12 月末までの事業報告と収支状況の報告
2 一般社団法人への移行に伴う役員人事方針確認協議の件
3 新年度事業計画大綱検討の件
4 一般社団法人移行について今後のスケジュール等の報告

理事会終了後、東京ベイコート倶楽部グラウンドボールルームにて平成 25 年賀詞交

歓会を開催しました。経済産業省商務情報政策局参事官吉田耕一郎様他 2 名を含め、約 70 名の理事、監事、正会員、賛助会員にご出席いただきました。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 タイムシェア研究会の開催

平成 21 年度に実施した「タイムシェア型住宅供給の促進」の報告書発表以来 2 年が経過しましたが、その後のタイムシェア事業の推移を確認すべく平成 24 年 8 月 15 日(水)リゾートトラスト東京ビル会議室にて開催しました。

大谷理事を座長に、鈴木理事・調査研究委員長（㈱鴨川グランドホテル社長）他 4 名のパネリストにより、アメリカタイムシェア事情の現状や日本のリゾートとの比較等活発な議論が交わされました。ご来賓として、経済産業省商務情報政策局参事官の大高豪太氏にもご出席いただいたほか、オブザーバーとして会員企業及び非会員企業から合計 31 名の出席がありました。この研究会の要旨は、ホームページに掲載しました。

2 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

大谷理事の協力により、会員企業のホテルに宿泊・見学し、その地域の調査を含め、ホームページに掲載することとしました。前年度に、紀州鉄道㈱の那須塩原ホテル、㈱鴨川グランドホテルの鴨川グランドホテルについて実施しました（ホームページに掲載済みです）。今年度は、㈱ダイヤモンドソサエティのダイヤモンド滋賀について実施し、これもホームページに掲載しました。さらに、㈱萬代のオテルドマロニエ下呂温泉、㈱ジェイアール東海ホテルズのホテルアソシア高山リゾートを訪問・見学しました。

(2) 研修会・セミナー事業

本年度は、適切な講師が見つからず、支配人研修会及びホテルスタッフ向けの研修会の開催は見送りました。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの刷新及び更新

大谷理事を中心にホームページを新たに作り上げました。極力更新頻度を上げるため、共催イベントのご案内、研究会の報告、日銀短観や木村讚前常務理事のコラム等ホームページ情報を随時更新しております。さらに今回は「ク

ラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の随想を大谷理事に執筆をお願いし掲載しました。又、消費者相談事業の一環として、今回は破たんしたリゾート会員権の出資金を、手数料を事前に支払えば買い戻してあげるといような詐欺まがいの問い合わせが別の手口でありましたので、再度注意喚起の記事を掲載しました。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

ホームページのカウンタによれば、平成 24 年 4 月中旬から、平成 25 年 3 月末までに、約 5 万 2 千件のアクセスがありました。

2 クラブとの共催イベントの実施

今年度も紀州鉄道の協力を得て、実施しました。

* 4 月 17 日(火)～19 日(木)

「大阪通り抜けの桜鑑賞と藤井寺・堺・池田歴史文化探訪の旅」と題する紀鉄クラブとの共催イベント。

参加者は 12 名でした。(内 他クラブからの参加者はなし)

* 5 月 24 日(木)

「日本絹の道【群馬編】探訪及びガトーハラダラスク工場&こんにやく博物館見学」と題する紀鉄クラブとのバスツアーでの共催イベント。

参加者は 19 名でした。(内 他クラブからの参加者はなし)

* 7 月 29 日(日)～30 日(月)

「那須烏山の山あげ祭鑑賞と会津若松歴史散歩の旅」と題する紀鉄クラブとのバスツアーでの共催イベント。

参加者は 19 名でした。(内 他クラブからの参加者はなし)

* 8 月 8 日(水)

「大人の社会科見学」と題する紀鉄クラブとの共催イベント。

キリンビール取手工場とアサヒビール茨城工場の見学と試飲を楽しみました。

参加者は 11 名でした。(内 他からの参加者 1 名)

(4) リゾネット・ジョイネット事業

1 リゾネット事業について

平成 25 年 2 月 22 日(金)にリゾネット協議会を開催し、新しいパンフレットの作成やリゾネットの利用促進策について協議しました。

本年度のリゾネット参加施設は 12 社、国内 26 施設(±0)でスタート。前期末にパンフレット 24,200 部(前年度比-3,800 部)を配布済。受入施設の変更が、紀鉄クラブのドギーホテル蔵王(山中プリンスホテル)、セラヴィリゾート泉郷の鳥羽ワンワンパラダイス(ホテルアルティア鳥羽)、マロニエクラブのオテル

ドマロニエ湯の山温泉（オテルドマロニエ内海温泉）の 3 施設ありました。これで愛犬と泊まれるホテルが 2 施設増え、ダイヤモンドのドギーズパーク箱根を加えて 3 施設になりました。

本年度の利用者数は、前年度よりは増加したものの、前年度は大震災の影響で減少したこともあり、まだまだ低調な実績推移でした。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	45	8月	205	12月	70
5月	143	9月	151	1月	74
6月	98	10月	114	2月	67
7月	161	11月	136	3月	87

本年度の利用者数合計 1,351 名（前年同期比 +5.7%）

前年同期利用者数合計 1,278 名

現状で送客の多いクラブは鴨川リゾートクラブ、セラヴィリゾート泉郷、東京レジャーライフクラブ、紀鉄クラブ、ナクアリゾーツクラブで、受入の多い施設は、ヴィラ北軽井沢エルウィング、伊東パウエル、リゾーピア箱根、ホテルアンビエント安曇野、ホテルエピナール那須の順になっております。

2 ジョイネット事業について

ジョイネット事業については現状維持で、パンフレットは作成せず、ホームページのみの掲載で実施しています。

提携施設数は、合計 140 施設（前年比-3）となっております。

シティホテル	88	（前年比	-2）	
ビジネスホテル	25	（	〃	-1）
ゴルフ場	25	（	〃	±0）
その他	2	（	〃	±0）
合計	140			

その他、ゴルフ場オンライン予約、海外ホテル・海外航空券ネット予約の提携があります。

(5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりです。

今年度の特徴としては、会員権の売却についての相談が増加しました。会員権を購入して 20 年以上経過した会員の高齢化や病気に伴うものが多く、リゾート事業運営会社としても今後ますます頭を悩ませる問題となりそうです。また、

投機商品の販売に関するものの他、破たんしたクラブの会員権に関する相談もありました。

4 その他の事項

4月23日(月)、5月9日(水) 平成23年度の会計監査(佐藤監事・朽本監事)を実施。

6月27日(水) 経済産業省へ「平成23年度の事業報告、収支決算報告、平成22年度の事業計画、収支予算」を提出。

7月31日(火) 内閣府公益認定等委員会事務局に一般社団法人への移行認可申請書を提出。(電子申請による)

10月15日(月) 本年度上期の会計監査を実施。(佐藤茂監事)

12月21日(金) 公益認定等委員会より内閣総理大臣あて「認可の基準に適合すると認めるのが相当」との答申書の提出。

3月4日(月) 経済産業省の立入検査実施。

3月21日(木) 内閣総理大臣より、一般社団法人への「認可書」受理。

以上